

## 幼児期のことばの

## 発達の基礎知識

## ことばの三本柱

幼児期の話しことばは、3歳ごろまでは個人差が大きく、年少クラスにはべらべらとおしゃべりする子もいれば、いくつかのことばしか話せない子もいるのではないのでしょうか。構音・発音に際しても、サ行やザ行、ラ行のような口腔の巧緻的運動機能が必要とする音の完成時期は、専門家の調査でも6歳6ヶ月以降となっており、年長クラスや小学校1年生のクラスに、まだ言えない子がいたとしても不思議ではありません。

我が子の話しことばが、周囲の同年齢の子や他のきょうだいに比べ、遅れているのではないかと焦ってしまい、正しくはつきり言うよう言い直しをさせている保護者さんに時折出会うことがあります。しかしそれは逆効果であり、お子さんを連れてことばの相談に来られた頃には、大切なコミュニケーション意欲そのものが減退し、失敗を恐れ、なかなか声を発してくれない、結果的にことばの練習は長引いてしまう、ということもあります。

子どものことばを伸ばすには、関連する沢山の条件が揃う時期を待たなければならぬことも多く、発達の仕組みを知ること、その時期がどれくらいなのかを予測することができず、今回はその一つである「ことばの三本柱」についてお話しします。

幼児期の子どもが周囲のことばを理解し、話せるようになるために必要な基本事項として「ことばの三本柱」があります。1つ目は「言えることば」(Speech)、2つ目は「わかることば」(Language)、3つ目は「通じ合う心」(Communication)です。ことばの発達の法則は、まずは「わかることば」が発達し、その後「言えることば」が発達します。しかし、最も重要なのは「心が通じ合う環境を準備すること」です。

●言えることば (Speech) の発達  
発音するために必要な、口腔機能、身体運動機能

ことばを話すためには口腔機能の発達は不可欠です。舌、口唇、歯、顎、鼻と口の通路を発音に合わせ開閉する軟口蓋、声門、それらの動きに合わせて発する呼吸(吐く息)など、日本語の一つ一つの音は、これらの協調運動によって作られます。また、ことばを滑らかに、リズムカルに発するには、身体全体の運動機能の発達が不可欠です。

●わかることば (Language)  
発達の「聞く力、共感する力、様々な感覚情報の蓄え」  
ことばがわかるためには、きちんと

聞こえているということが大前提です。しかし幼児期に発症しやすい「滲出性中耳炎」の見逃しは多く、知らず知らずのうちに軽度や中等度の伝音性難聴になっている場合があります。注意です。わかることばが増えていく過程には、人の音声に注意を向けること、人と共感し合えること、豊かな生活体験や、十分な運動から得る様々な感覚情報の蓄積も必要です。例えば、「りんご」ということばが「わかる」とは、その色や匂い、温度、大きさ、食べた時の固さやサクツという音、食べた場面で「おいしいね」と共感した記憶などから、その概念(本質的特徴)と「りんご」という名称をセットで覚えるということを指します。このようなことばの習得の過程は、整えられた生活環境の中に生まれやすく、体が健康な状態であればより知識として蓄積しやすくなります。

●通じ合う心  
(Communication) の発達  
主たる養育者(親)との安心できる関係

ことばが話せなくても、母子のコミュニケーションは赤ちゃんが生まれたその時から始まっており、これから始まる人と人とのコミュニケーションの基盤でもあります。赤ちゃんがお母さんに抱かれておっぱいを飲む時、お母さんの顔の辺りの30cmほどのところがぼんやり見えており、2〜3ヶ月ごろになると少しずつ目、鼻、口などの部位も見え始め、徐々に視線を合わせられるようになってきます。

大好きな人とゆったりした時間の中

目を合わせ、互いの表情や動きを見たり、そこから発せられる声を聞いたりと楽しみながら、人対人の二項関係を構築し、その人が向けた視線の先の「もの」へ、赤ちゃんもつられて目を向ける「共同注視」から、言語獲得の基礎となる三項関係へと発展します。その「もの」を共有しながら添えられる「ほら○○だね」「かわいいね」「キラキラするね」などの音声を聞き取り、見たり触ったりして得た感覚情報も加えながら、「もの」をことばで表現することを覚えていきます。このような過程を通して、子どもはことばを、他者とのコミュニケーションの「道具」として獲得し発展させていきます。

このように、ことばの発達の過程には、栄養源となる様々な働きかけや環境の準備が必要ではありませんが、大人が一方的に与えるのではなく、子どもの側に立って働きかけを考えることが大切です。ことばを伸ばすために必要な知識について、次回は、もう少し詳しい内容に踏み込んで説明したいと思います。

## 参考文献

1. 2, 3歳ことばの遅い子 ことばを育てる暮らしのヒント / 中川信子著 / ぶどう社  
ことばをはぐくむ / 中川信子 / ぶどう社  
文書寄贈  
NPO法人こころこ  
ミュニケーションの発  
達支援



イラスト ぶどう社